

★アナムネーシスとエロースは、現実生活の中のどういうことに相当するのだろうか？

①アナムネーシスとは、魂がアイデア界にいたときのアイデアの記憶を思い出すこと。

＝現象界の諸事物に対応してアイデアが存在することを発見すること。

＝目に見える現象の背後に、目に見えない真理があることに気づくこと。

＝ソクラテスがいう「無知の知」におおむね相当する。

※(参考) サンテグジュペリ『星の王子様』の名セリフ「大切なものは目に見えない」

②エロースとは、アイデアにあこがれアイデアに接近しよう(獲得しよう)とする態度

＝真理(完全なもの、価値あるもの)を追求する態度

＝ソクラテスがいう「知を愛し求めること」におおむね相当する。

★現代社会における統治者とは誰か？ その統治者は哲学者たりえているか？

政治家たちは決して知的・理性的な人物ばかりではない。現代社会は民主主義の社会であるから最上位の統治者は国民ということになるが、現状では国民もまた哲学者のように思慮深くあるわけではない。国民の知的水準を上げること(哲学者になること)が絶対に必要である。

※知性のある政治家がいないわけではない。(例)岩手県の旧沢内村の村長・深沢^{まさお}晟雄氏